

「奇跡の清流」を清掃

カヌーシーズン本格シーズンの前にノベスタ

カヌーなどで川を下る「カヌーツーリング」の本格シーズンを前に、延岡市のNPO法人ひむか感動体験ワールド（ノベスタ・高橋勝栄理事長）は26日、延岡市北川町の北川支流・小川で清掃や倒木などの撤去作業を行っ

た。流域に照葉樹林が多い小川は年間を通して透明度が高く、「奇跡の清流」と呼ばれている。カヌーツーリングは、アウトドア観光を提供するノベスタの人気プログラムの一つ。昨年は、7月中旬から8月

末までに県外を中心に400人以上が訪れた。作業には一般客4人を含む9人が参加。通常のスタート地点となる北川町松瀬の上流部からこぎ出し、川岸の

ごみを拾ったり、コースをふさぐ倒木などを取り除きながら同町瀬口までの約8キロを下った。ノベスタの成崎聡事務局長は「ごみは昨年のシーズン後より少ないものの、台風による影響で大型のごみも見られた。今年は昨年を上回るツーリング客が見込まれており、安全なコースで受け入れたい」と話していた。



新緑がまぶしい小川をカヌーで下るノベスタのスタッフら



コースをふさぐ倒木などを撤去した

参加した延岡市の女性（40）は「小川は景色がよくて水もきれい。何回来ても癒やされ、心が洗われる気がする」と笑顔を見せていた。



魚のつかみ取りを楽しむ子どもたち。「かわまちフェスタ」はあすまで

—2018—
GW
点 描

ゴールデンウィーク（GW）初日のきょう、青空が広がる絶好の行楽日和に恵まれ、各地のイベント会場は多くの家族でにぎわった。

延岡市大富町の大瀬川河川敷に完成した食

の拠点施設「かわまち交流館」はきょう開館。オープニングイベントがあり、来場者が川辺で遊びを満喫した。

延岡産を使った「食」や、のほりぎる体験、ボルダリングなどが人気。魚つかみ取りでは、びしょぬれになった子どもの歓声が響いていた。

子ども連れて来場した近くの公務員男性（39）は「大型連休の後半が仕事になるので、前半に子どもと楽しい時間を過ごせました」と笑顔で話していた。

魚のつかみ取りに歓声

かわまち交流館がオープン 延岡

きょうからGW

高千穂など宿泊、ほぼ満室

各地で混雑予想

県警「ゆとりある計画を」

きょうからゴールデンウィーク(GW)。今年は日曜、祝日が連続して超大型連休となる人も多く、延岡市や高千穂町では宿泊施設が満室となるなど、県北各地の行楽地も混雑が見込まれている。

県ホテル旅館生活衛生同業組合延岡支部によると、延岡市内の宿泊施設は5月5日の「ゴールデンゲームズ」のべおかをはじめ、連休中はスポーツ関係者が多く宿泊。連休後半の3～5日を中心に、「どこもキャンセル待ちの状況」だとい

人観光客の増大も伴って、例年以上の入り込みとなりそう。町観光協会によると、町内の宿泊施設は連日ほぼ満室で、問い合わせの対応に追われている。

特に高千穂峡は例年大混雑するため、同協会は「連休中も案内所は開けており、ホームページでボートの待ち時間なども発信していますので、あらかじめ情報を確認して

きていただければ幸いです」と呼び掛けている。日向市観光交流課は、馬ヶ背やクルスの海、日向サンパークを中心とした混雑を予想。馬ヶ背では5月3～6日に「馬ヶ背にぎわいフェスタ2018」が開かれ特に混み合いますので、市は警備員を配置して「第1～3駐車場へのスムーズな誘導に努めたい」としている。交通機関も例年以上の

混雑が見込まれている。JR九州の指定席予約状況(今月13日現在)によると、27日～5月6日の期間中、日豊線の特急は上りが前年比9・9%増、下りも5・2%増という。混雑のピークは下りが5月3日(予約率48・5%)、上りが同5日(同42%)と予想。九州新幹線も上下線とも前年比13%超と大幅に乗客が増える見込みで、JR九州は「確実に座れる指定席をお早めにご予約ください」と呼び掛けている。

宮崎交通の高速バスも予約が増えており、延岡発「福岡行きのかせ」号は今月28日～5月4日までの7便がすでに満席。5便が「空席少々」となっており、特に同3日は予約が集中している。NEXCO西日本によると、九州内の高速道路の渋滞(5キロ以上)は、今月28日～5月4日の日中と、同5日の夕方～夜間に発生すると予測。県内路線で渋滞はない見込みだが、東九州自動車道は上り線の津久見ICで

大分宮河内ICで5日午後5～7時に5キロの渋滞が予測されている。県警本部によると、「一般道はGW期間中、宮崎市の国道220号源藤交差点～東九州道宮崎ICと、都城市の宮崎道都城IC～国道10号の混雑を予想。二時間にゆとりを持たせた運転計画をお願いします」と呼び掛けている。